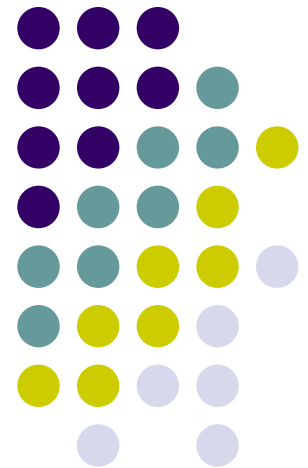


平成29年3月期第2四半期累計
決算説明資料

大村紙業株式会社

東京証券取引所
JASDAQ(スタンダード):3953





目次

- 会社概要 ……3
- 事業の状況 ……4
- 業績概要 ……5
- 品種別売上高及び生産実績 ……7
- 今後の見通し ……8
- 売上高および経常利益の見通し ……9
- 品種別売上高の見通し ……10
- 免責事項 ……11



会社概要

- 社 名 : 大村紙業株式会社
- 本 社 所 在 地 : 神奈川県茅ヶ崎市甘沼163-1
- 代 表 者 : 大村日出雄
- 設 立 : 1965年(昭和40年)3月17日
- 資 本 金 : 554,000千円
- 発行済株式総数 : 4,884千株
- 事 業 内 容 : 段ボール(シート・ケース・他)の製造販売
ラベル製品の製造販売
副資材商品の販売
デザイン・ディスプレイ関係の請負
- 事業部および営業所
: 湘南・東北・大阪・栃木・静岡・三重・茨城・
仙台・京都・レーベル栃木・埼玉・千葉・レーベル埼玉・
会津・レーベル湘南・レーベル三重
- 研 究 所 : 包装設計デザイン研究所

事業の状況



- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善傾向が見られるものの、円高による輸出企業の収益の停滞や新興国等の景気減速などの影響もあり、先行き不透明な状況が続いています。
- 生産量につきましては、段ボールシート32百万m²(前年同四半期比4.3%減)、段ボールケース19百万m²(前年同四半期比5.0%減)となりました。
- 当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,476百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。利益面におきましては、経常利益185百万円(前年同四半期比33.5%増)、四半期純利益119百万円(前年同四半期比41.2%増)となりました。
- コーポレート・ガバナンスの取り組みについては、直近の有価証券報告書に記載しておりますのでご覧下さい。また、コーポレート・ガバナンス報告書は東京証券取引所ホームページから検索しご覧いただくことができます。

平成29年3月期第2四半期累計 業績概要①



売上高2,476百万円(前年同四半期比4.9%減)となりました。利益面におきましては、経常利益185百万円(前年同四半期比33.5%増)、四半期純利益119百万円(前年同四半期比41.2%増)となりました。

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (平成28年4月～9月)	前第2四半期累計期間 (平成27年4月～9月)	前年同四半期比
売上高	2,476	2,605	-4.9%
営業利益	184	137	34.3%
経常利益	185	138	33.5%
四半期純利益	119	84	41.2%



業績概要②

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ55百万円減少し、7,097百万円となりました。これは主に現金及び預金が増加し、売上債権及び有形固定資産が減少したことによるものであります。

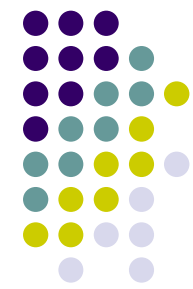
負債は、前事業年度末に比べ125百万円減少し、2,196百万円となりました。その結果、純資産は4,901百万円となりました。

(単位:千円)

資産の部	当期末 (平成28年9月末)	前期末 (平成28年3月末)
流動資産	4,465,288	4,450,926
現金及び預金	2,975,788	2,898,093
受取手形	514,459	535,903
売掛金	659,000	726,046
たな卸資産	265,525	244,313
その他流動資産	50,514	46,568
固定資産	2,632,538	2,702,147
有形固定資産	2,291,562	2,356,160
無形固定資産	16,872	18,335
投資その他の資産	324,103	327,652
資産合計	7,097,826	7,153,073

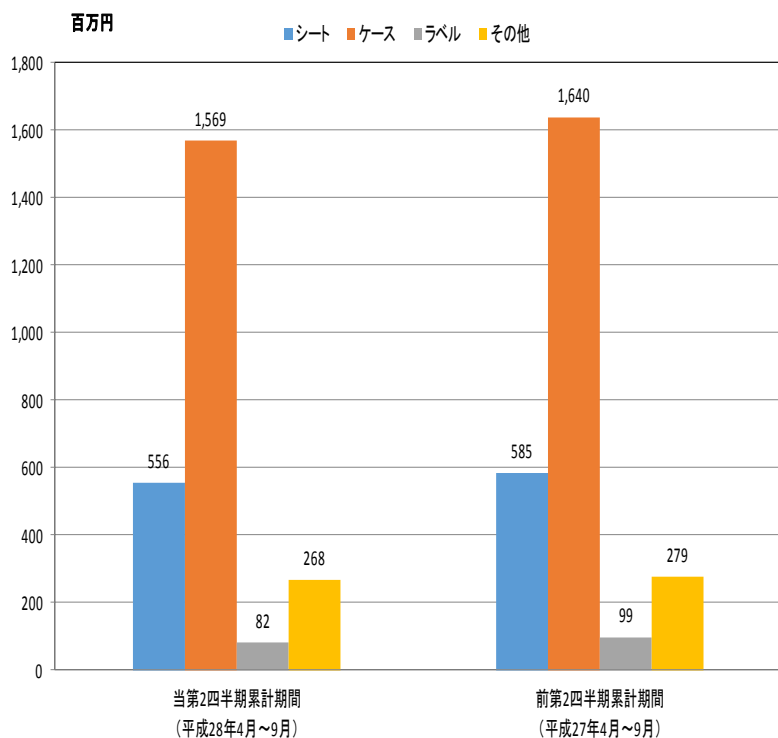
(単位:千円)

負債・純資産の部	当期末 (平成28年9月末)	前期末 (平成28年3月末)
流動負債	1,453,368	1,550,892
支払手形	919,477	980,738
買掛金	186,546	226,736
未払法人税等	74,710	88,907
その他の流動負債	272,634	254,508
固定負債	742,746	770,643
退職給付引当金	162,859	169,970
役員退職慰労引当金	396,253	391,271
その他	183,634	209,401
負債合計	2,196,115	2,321,535
純資産合計	4,901,711	4,831,538
負債・純資産合計	7,097,826	7,153,073

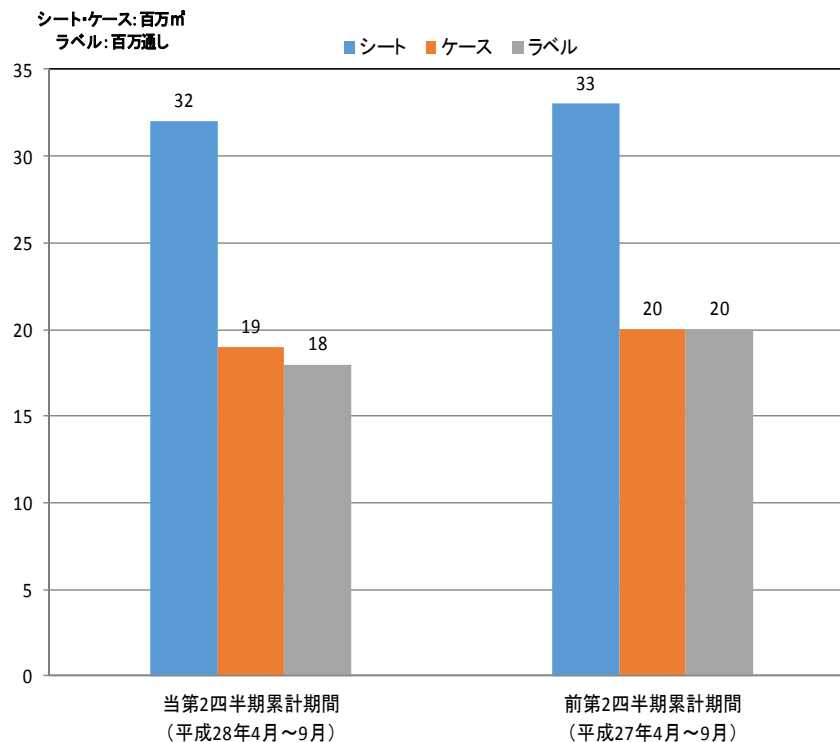


品種別売上高及び生産実績

シート・ケース・ラベル・その他の全区分で
売上減少となりました。



シート・ケース・ラベルの全区分で
生産減となりました。





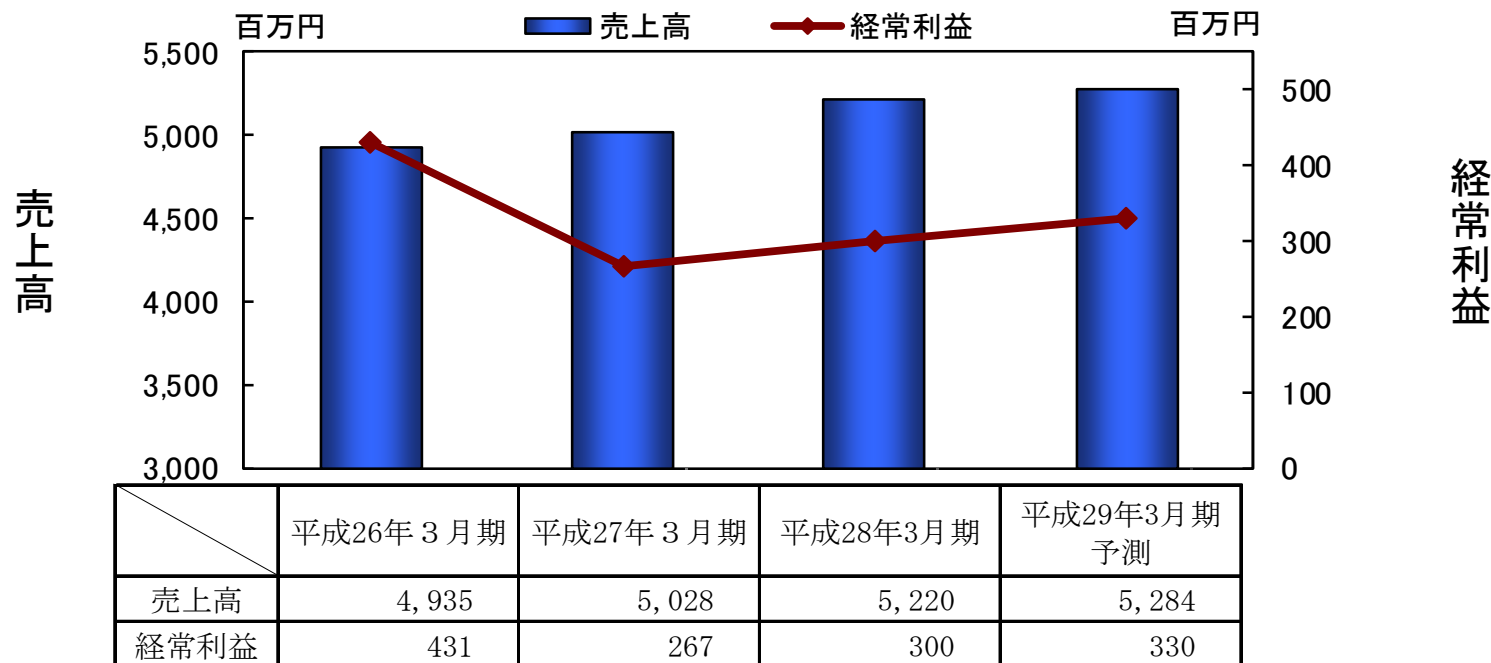
今後の見通し

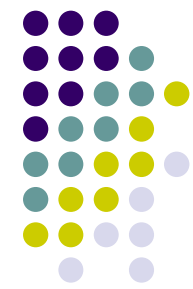
- 通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に発表しました「平成28年3月期 決算短信[日本基準](非連結)」に記載された数値から変更はありません。
- 利益配分の方針は、安定的な経営基盤確立のための内部留保の充実と、安定配当の維持を基本としております。内部留保金につきましては、業績の安定に向けた財務体質の強化、生産設備の増強による生産性の向上及び販売体制充実のため有効活用する方針であります。



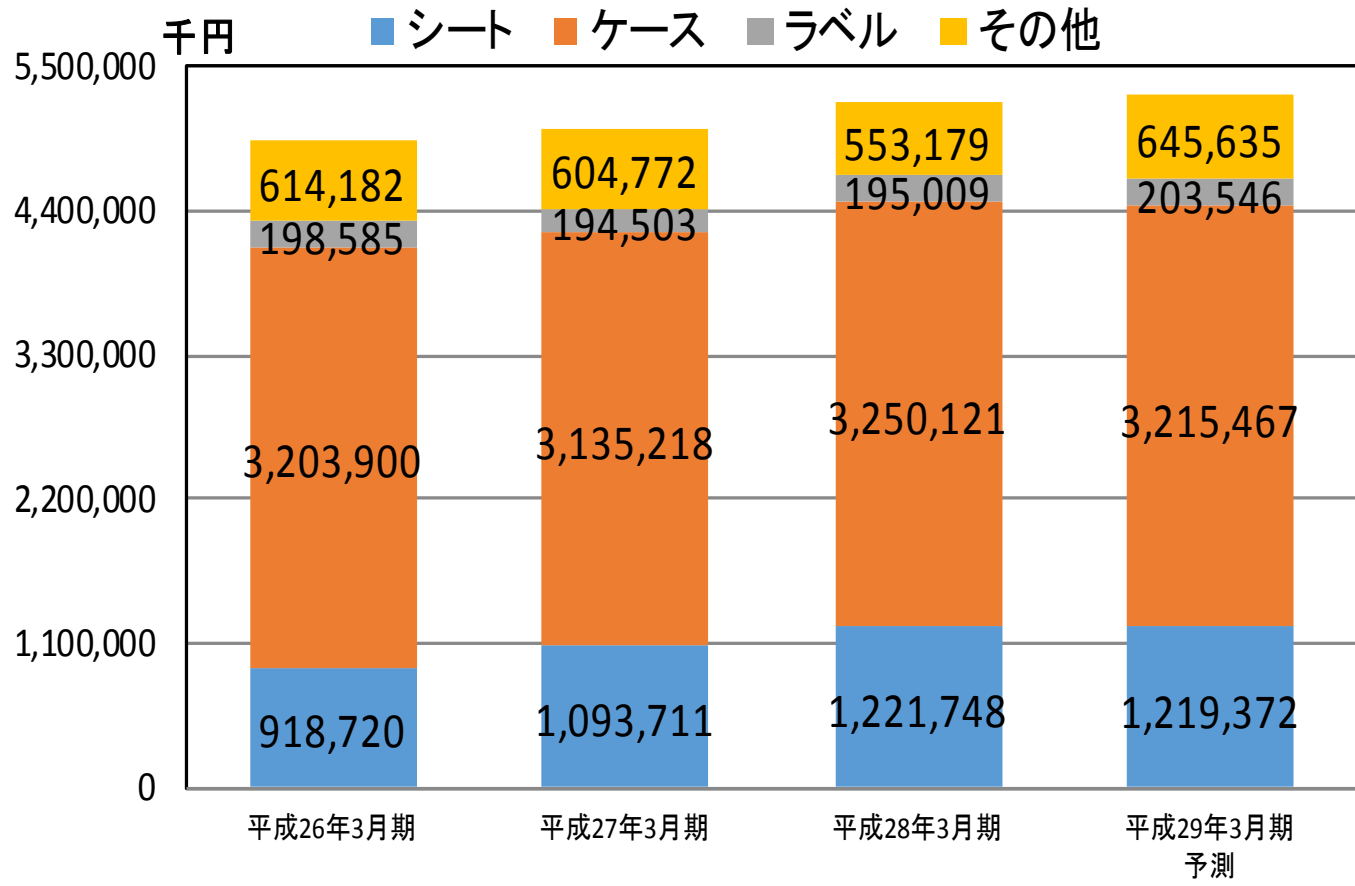
売上高および経常利益の見通し

※売上高5,284百万円(前期比1.2%増)、営業利益328百万円(同10.2%増)、経常利益330百万円(同10.0%増)及び当期純利益204百万円(同18.3%増)を計画しております。





品種別売上高の見通し





免責事項

- 当資料に記載されている情報のうち当社の計画、見通し、戦略、確信などの歴史的事実でないものは、将来の業績に関する予想値であり、現時点において入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいております。実際の業績はさまざまな重要な要素により、かかる予想値とは大きく異なる結果となりうることをご承知ください。
- 当資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 当資料の掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りなどによって生じた問題などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。
- 当資料には大村紙業の将来についての計画・戦略・業務に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。また、市場の需給動向、製紙業界における厳しい競争、経済のファンダメンタルズ、等々に関するリスクや不確実性を際限なく含んでいます。それゆえ、実際の業績・達成度は当社の見込みとは異なるかもしれないことを予めご承知おきください。